

## 【様式1】

団体名 南城市立馬天小学校	連絡先 TEL : 098-947-6535 Eメール : basho-kyoutou@edu.city.nanjo.okinawa.jp
------------------	--

### 1 実践事項 (②)

タイトル : 「〈チーム馬天〉 で取り組む学力向上」

### 2 実践内容

- A) 生活リズムの確立に向けた取り組み    B) 落ち着いた生活・学習環境づくり  
C) カリキュラム一覧表を活用した効果的な学習指導  
D) 校内研と連動した授業の質的改善の取り組み    E) 自主的な家庭学習の推進  
※BDは昨年度報告したので、今回はACEについて報告する

### 3 説明資料 (写真、グラフ、図、表など)

#### ①生活リズムの確立に向けた取り組み

「早寝」「早起き」「朝ご飯」の基本的な生活習慣に基づいた生活リズムの確立を目指し、各学年学級において、学級指導を行った。低学年においては養護教諭も指導に加わり、専門的な見地からも生活リズムを整えることの大切さを学習した。また、高学年においては、1学期の調査から明らかになったこととともに、夜更かしの大きな原因になっているインターネットやネットゲームとの正しい付き合い方について、専門家を招き講話を通して学んだ。



養護教諭による授業

#### ②カリキュラム一覧表を活用した効果的な学習指導

本校の「目ざす児童像」に基づいて設定された「思いやる心」「表現する力」という資質・能力に重点を置き、それらが教科領域間で意図的・計画的に育成できるよう学年ごとにカリキュラム一覧表を作成した。各学年の取り組む内容について情報交換を行い、成果と課題を見いだしながら進めた。

#### ③自主的な家庭学習の推進

宿題と家庭学習を区別し、教師から与えられた課題のみに取り組むのではなく、児童が自分に必要な学習を自ら考え取り組む家庭学習を推進（高学年では「未来ノート」と名付けた）。質の高い学習を進める児童のノートを紹介したり、PTA学推部とも連動して、児童の表彰も行っている。



家庭学習のよい取り組みを紹介

### 4 成果と課題

- 目ざす児童像を職員が共有し、身につけさせたい資質・能力をベースに教科領域を横断するカリキュラムを計画実施することで、コロナ禍において時数が制約された中でも、効果的な指導を進めることができるようになってきている。
- よりよい生活習慣を形成するために、学級単位での指導や養護教諭を交えての授業を積極的に行うことで、学期ごとに調査している生活リズムチェックの結果に改善が見られた。
- 自主的な家庭学習の推進は、今年度始めたばかりということもあり、質の高い学習ができない児童が一定数いる。やり方を具体的に指導するなど、丁寧な対応や取り組みの工夫が必要である。